

きょうと シルバーだより

No. 84 新春号 令和4年1月



(写真：「平安神宮大鳥居」 武久 辰雄会員撮影)

新年あいさつ

地域班活動

KSRだより

地域紹介

〱 山科区 〱

ふれあいの小窓

事務局だより

委員会報告

要望活動

人権の尊重について

緊急時の連絡先について

配分金の確定申告について

公益社団法人 京都市シルバー人材センター

新年のご挨拶

理事長 松本 建次



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。旧年中は、当センターの事業推進に格別のご理解とご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、まさにコロナ一色の一年であったかと思います。観光都市・京都に位置する当センターにおいては、コロナの影響が続く中、観光関連業者や一部大型小売店舗などからの大幅な受注減少が大きく響き、一昨年に引き続き昨年もコロナ禍以前の経営状況に回復するに至っておりません。しかしながら、我々の推進するシルバー事業は、高齢者の皆様がやりがいと充実感を持って人生を有意義に過ごされるための大変に有意義な事業であり、コロナ禍においても何としてもその推進に努めていかなければなりません。

当センターといたしましては、地域住民の皆様からの信頼に応えていく事業運営を目指す中で、当センターに集う一人一人の会員の皆様とともに、生涯現役時代の実現に向けて取り組んでまいります。

また、本年は当センターの喫緊の課題であった堀川今出川事務所の移転がこの春に予定されております。当センターの看板事業である子育て支援施設「ばあばサービスピノキオ」と特色ある取組としての「祇園祭のちまきの製作」の場所をはじめ、多くの機能を有する同事務所の円滑な移転と万全の事業運営に向けて取り組んでまいります。

我々の経営状況は依然として厳しいものがありますが、新しい年に向けて、一層の発展を目指して全力で取り組んでまいることとお誓いするとともに、令和4年が、すべての会員の皆様にとって、ご健勝で、幸多き一年になりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

持続可能な財政を確立し、魅力あふれる京都を共に未来へ！改革に邁進します。



かど かわ だい さく
京都市長 門川 大作

あけましておめでとうございます。

公益社団法人京都市シルバー人材センターにおかれましては、高齢者の皆様の豊富な御経験や御見識を十分に発揮できる機会を提供され、社会参加の促進や生きがいづくりの推進に多大な御貢献を賜っておりますことに、深く感謝申し上げます。

昨年はコロナ禍の厳しい日々でしたが、命と健康、暮らしを共に守り抜くため、医療・検査・相談体制を大幅に強化。ワクチン接種も大きく進みました。そして迎えた新たな年。感染状況を注視しつつ、府市協調で切れ目のないコロナ対策を推進。市民生活・雇用・経済・教育・文化・観光の下支え、回復に全力投球します。

本市ではこれまで、福祉、教育、子育て支援等の分野で、国の水準を上回る施策を展開。それらは、全国トップ水準の福祉、子育て、保育・幼児教育の質の確保や「SDGs先進度」全国1位等の高い評価につながっています。一方、この間、年間人件費270億円削減をはじめとする行財政改革を推進。経済も活性化し、コロナ前の5年間で市税収入は9%増となり、過去最高を更新しました。

しかし、収支不均衡の構造が長く続く中、国からの地方交付税が大幅に削減され、そこへコロナ禍。本市の財政は今、危機に直面しています。輝かしい京都の未来のため、子どもたちや困難を抱える方々のために、まずは市職員の給与カット等の行財政改革を断行。限られた財源を吟味・再配分し、市民の皆様丁寧に御説明しながら、京都ならではの福祉、子育て、教育、安心安全をしっかりと守ってまいります。

魅力と活力ある京都のまち、持続可能な未来へ。覚悟を決めて市民の皆様と共に歩みを進めてまいります。

〈2021〉 ～ 普及啓発活動報告 ～

10月15日（金）午後1時から、恒例の全市一斉啓発活動を実施しました。

本部エリアは、中京区が四条烏丸交差点、下京区が四条大宮付近、右京区が西院駅周辺、西京区がラクセーヌ、桂駅周辺、東部エリアは、山科区が山科駅周辺、伏見区が大手筋商店街、パセオ・ダイゴロー前、北部エリアは、北区が北大路ビブレ前、上京区が出町柳形商店街、左京区がイズミヤ高野店前の計11箇所、総勢165名の参加のもと行いました。

そのうち、本部エリアでは西京区を、東部エリアにおいては、伏見区醍醐地区を、北部エリアにおいては、北区の活動をご紹介します。

西京区は、A地区、B地区合同で阪急桂駅東口と西口に分かれて実施しました。

ちょうどよい天候のもと、集まってくださった会員が歩いている人たちに「シルバー人材センターです。」「何かご用事あればお願いします。」などと声をかけチラシを配布しました。中には、詳しいことを教えてほしいと、立ち止まってじっくり話を聞いてくださる方もおられ、会員も勢い込んで話をしていました。

また、昨年度から洛西地区で実施している午前中のラクセーヌ前での配布活動を今年度も実施し、朝の10時から買い物などの用事でラクセーヌへ来られる方々に声をかけながらチラシ配布を行いました。西京区としては、午前、午後合わせて20名の会員が参加してくれ、盛り上がった活動となりました。

今後も街頭啓発の日に限らず、常に普及啓発を心掛けた活動をしていこうと話しながら散会しました。

西京区B地区長 右川 正博

伏見区醍醐地区は、パセオ・ダイゴロー前、地下鉄醍醐駅周辺で実施しました。東部支部の前に集合、KSRの協力のもと会員15名が参加。中村東部支部長の激励の挨拶の後、ゼッケンを着用した会員が、和気あいあいと、元気よくチラシなど300枚を手渡して配布し、啓発活動は2時間ほどで終了しました。地域の方から「仕事はあるのか」「シルバー人材センターに入るにはどうしたらよいのか」などと尋ねられ、このような啓発活動は重要だと感じました。

コロナ禍も収束しつつありますが、感染の不安がなくなれば、地域班の親睦交流活動にも取り組みたいと考えております。

伏見区C地区長 溝口 好雄

北区では、北大路ビブレ周辺で実施しました。

参加会員は、例年より少し少ない9名でしたが、その分一人一人が例年より多くのチラシの枚数を担当し、積極的に配布活動を行いました。

松本理事長、松森事務局長にも応援に来ていただいたこともあり、精力的な活動ができたと思います。

長い間、コロナの影響で外での活動ができていなかった分を少しでも取り戻そうと「シルバー人材センターです。何かお手伝いできることがありましたら、是非ご利用ください。」と声をかけながらチラシの配布を行いました。中には、詳しいことを聞いて行かれる人もおられ、そこそこの反応はあったと思います。

天気も程よい天気、久しぶりに顔を合わせた会員同士の会話も弾み、楽しい取組の1日となりました。

北区A地区長 ： 李 一雄

◇-----◇
 ◇-----◇
 ◇-----◇

〈 令和3年度 〉 ～ KSR事業活動報告 ～

◇-----◇

～後期事業活動報告～

実施行事	実施月	実施場所・内容	参加人員
掃除講習会	10月(4回)	堀川今出川事務所2階会議室	59名
ブロック長研修会	12月16日(木)	堀川今出川事務所2階会議室	28名
中級研修会	1月(6回)	堀川今出川事務所2階会議室	
ボランティア活動	2月	タオル寄贈	

掃除講習会に参加して

令和3年度掃除講習会が10月に4回(各15人)開催され、最終回の10月27日(水)に受講しました。講師は㈱ダスキン山城ダスキン精華支店メリーメイド事業部主任の福田朋子さんと、小学生対象に出前授業も行っているベテランの先生です。

講習会のテーマは「お掃除の基本を知り、ダスキン流の健康お掃除と掃除用具の使い方」であり、最初に中央のテーブルに置かれた数々のお掃除グッズを見て講習への興味をそそられました。

講習の前半は、掃除の基本知識となるホコリの性質、汚れの種類、洗剤の液性(アルカリ性、中性、酸性)ごとの種類、汚れが付着する物や場所・その素材、掃除の手順について説明を受け、「あると便利な掃除用具」という項目では、ダスキン製品だけでなくオスメの百均グッズの紹介も受けました。

後半の質疑応答では、次々に質問の手が上がり、現場で頑張っているKSR会員の皆さんのやる気のご苦労、いろいろ工夫されている様子が伺えてとても刺激的でした。

そして、講師の先生からの最後のメッセージは、本日の講習会の内容はすべてダスキン流ではなく、ご自身の経験に基づく知識や情報も提供したという驚きの発言。

「これが絶対正しい!」という掃除のやり方があるわけではなく、人それぞれ家それぞれに必要な十分なやり方があり、それもOKと理解しました。終了後に、箱入りのダスキン洗剤セット(風呂用・カビ用・油污れ用)をいただきました。



右京区 : K. N

ばあばサービスピノキオについて

2002年（平成14年）5月に、経験豊富な「ばあば」たちによる一時預かり保育施設「ばあばサービスピノキオ」（定員10名）を二条城前の事務所に開所し、その後、堀川今出川事務所に移転しました。さらに、2019年（平成31年）4月には、中京区の御所南にも「ばあばサービスピノキオ御所南」（定員10名）を開所、現在2箇所で開催しております。

まもなく90歳になる最高齢のベテランの保育士さんをはじめ30人余りのKSRの会員が保育スタッフとして活躍しています。

10月には、京都新聞にピノキオの記事が掲載されました。その記事では、コロナで保育園が休園になり、ご両親の休みが取れず、祖父母も遠方のため、ピノキオを利用し4日間を乗り切ったとありました。

新型コロナウイルスの「第5波」が起きたその頃は、コロナでの休園のためと思われますが、子どもたちの来所の人数が増え、大忙しの日々もありました。また、お迎えに来られたリピーターのお母さんからは、「ここを知っていてよかった。大助かりです。」と喜んでいただきました。このように、コロナ禍で困っておられる方々や日々のお仕事の関係で預けに来られる方々のお役に立てていることを嬉しく思います。

来所される子どもたちは生後6箇月から小学校3年生までと年齢が様々。その中で、おまごとやお買い物ごっこ、レゴのブロックを共同で組立てるなど、初対面なのにすぐに意気投合し仲良く遊べる子どもの感性に感心しています。また、お座りができて間もない赤ちゃんが音楽のメロディーに合わせて体をゆらゆら、ニコニコとした笑顔が可愛かったり、その反面、人見知りをはじめた赤ちゃんが親離れできず、どんなにあやしても泣き続け困ることもあり、日々様々な感動や驚きがあります。

来所される子どもたちの素直な瞳・素敵な笑顔・かわいいおしゃべりやパワーいっぱいの元気に支えられながら、「ばあば」たちは日々の仕事にまい進しています。



ばあばサービスピノキオ御所南での保育風景

右京区：中田 靖子

《 山科区地域班 》

山科は、京都市の東端に位置し、京の東の玄関口として、古くは旧東海道、現在はＪＲ、京阪京津線、京都市営地下鉄東西線の結節点になるなど交通の要所です。新幹線は残念ながらパンタグラフの騒音と電波障害を置き土産に通過するだけです。

この地域には、天皇陵の中では京都最古の天智天皇陵、紅葉で有名な毘沙門堂、桜、ハスで有名な勧修寺、小野小町ゆかりの随心院、京都近代化の礎を築いた琵琶湖疏水など様々な時代の名所旧跡があります。

また、これらの名所旧跡をめぐるハイキングコースも整備されており、お住まいからお近くで気軽にいくことができ、健康づくりにもお勧めです

山科区地域班は、大まかに外環状線道路を東西に、Ａ、Ｂ班に分かれております。会員数は２班合わせてここ数年５００人前後で推移しています。地域班としては、班長会議やシルバーだよりの会員への配布などの取組は行っておりますが、コロナ禍のため、地域班独自の活動や行事ができておらず歯がゆい思いです。

コロナ収束後は、気分を新たにし、湯けむり懇親会・ウォーキングなどを企画し、会員間の親睦を深める取組をしたいと思っています。

私どもも、ほかの地域班と同じく、現在の班長さんが退会等の事情で辞められる場合、後任の班長の引き受け手が見つからず、四苦八苦いたしました。何か良い手立てはないのでしょうか？

山科Ｂ地区長：蜂須賀 康夫

《 ＫＳＲ山科区月例会の紹介 》

月例会は東部支部の会議室を借り、第１火曜日の午後１時３０分から、和気あいあいと楽しく開催しています。現在の会員数は３５名です。

出席者は、コロナの影響もあるためか、毎回１０名前後と他の区に比べ少なく、ブロック長の力量不足を感じており、なかなか会員たちと交流ができていないことが悩みの種です。

月例会については、新入会員の出席があると自己紹介してもらいます。出席者全員から歓迎されています。

月例会の内容ですが、前半はブロック長会議の内容を報告した後、ＫＳＲリボンの会のおたより・講習会の案内・チラシの内容を説明しています。

後半はフリートークで、お互いの近況を話してもらったり、個々の家事援助のケースについて先輩会員からアドバイスをもらったりしています。欠席者には、当日の資料を郵送しています。

今後については、一人でも多くの会員に出席してもらえよう、会員同士の交流の楽しさを伝えるなど工夫していきたいと考えております。

山科区：草野 政子

< 枯れ木も山の賑わい >

人生 100 年時代と言われ、平均寿命が飛躍的に延びる中、必然的にほとんどの人が老後に向き合っていかなければならないという「余生」がある。

単純に言えば現役でない余った人生であるが、一般的な人で約 20 年余りある。

一方、少子化で高齢者を支える現役世代や若者の数が減っており、現役世代や若者に高齢者の年金や健康保険などの負担がのしかかり不満が噴出している。

このため、「余生」は、これまで頑張ってきたご褒美とただ漫然と過ごせばいいなどとの考えでいるだけでは社会のお荷物と揶揄される時代になってきていることを十分認識しなければならないと思っている。そのうえで、この先どう生きていけばお荷物にならないのか真剣に自分自身で考えていかなければならない。

そこで私が参考にしているのは、好きな作家の一人、森村誠一氏の著書である。

その中には「有意義に生きなければ余生とは言えない。」何もすることがないなどと「行動」も起こさずただ一日ぶらぶらと時間を無駄に過ごせばまさにお荷物。

お荷物と言われたいためには、まず「尊敬」される老人でなければならない。尊敬されるために重要なことは「心身ともに能力が高いこと」。

視覚、聴覚が衰えていたとしても、「見よう、聴こう」という意識をもつこと。何にでも興味を持ち、行動しようとする意識があれば、肉体が衰えていっても訓練することによってメンテナンスができる。

「精神力・気力・体力」のメンテナンスは「若さ」を保つことに直結するので非常に重要。加えて、社会に貢献あるいは参加し常に活動に関わり続けることが大事。

何かのボランティアでもよし、要するに社会に貢献あるいは参加することがポイント。また、人生において大切なものに人との出会いがある。歳をとればとるほど自分から積極的に出会いの場に参加するのも重要。

新しい人との出会いは新たな考えや意見や思想が吹き込まれる。年齢や性別は関係がない。自分の知らないことを知っている、自分が経験したことがない経験をしている、そんな人たちに出会うことが大切。云々、なるほどと共感すること然り。

とりあえず森村氏の言われることを 2, 3 実践している。保育園で親御さんと子供たちの登園、帰宅時の「安全確認・見守り」の仕事を週 2～3 回朝夕に相方と交互に楽しく携わっており微力ながら社会に貢献しているのではないかなと思う。

出会いでは、2 年ほど前に、シルバー人材の先輩と出会い話したところ、見識が高く、話題豊富で、ユーモアのある人であったため、ときどき会う機会を設け、お互いに知らないこと、経験のないことを教えあったりして知識の向上に努めている。

現状ではそれくらいだが、この先、歳を重ねるごとにいろいろなことが起きると予想される。そのときにケ・セラ・セラと言わないよう森村氏の書をバイブルとして活路を見出していこうと思う。お荷物と言われたいために。

西京区 T. H

委員会報告

＝自転車安全講習に参加して＝

令和3年9月28日（火）、二条自動車教習所において、京都府中京警察署のご協力の下、安全・適正就業委員会主催の自転車安全講習が開催されました。

コロナ感染症防止のため屋外で説明を受けた後、3組に分かれ安全講習を受講しました。

ハイビームとロービームの夜間での前方視認可能距離の違いを体験するコーナーでは、見え方に大きな差があることを実感しました。

ドライブシミュレータによる運転体験では、運転開始早々他の車と接触してしまい、出発時に注意深く周囲を確認する必要があることを痛感しました。

教習所内コースでの自転車実技講習では、スタート時の安全確認、交差点付近での運転、一時停止場所での確認の仕方を指導いただいた後、コースを走りました。慣れにより疎かになってしまいがちな安全確認の大切さに気付かされました。

今回の講習に参加して、「隗（かい）より始めよ」の言葉通り、身近なことから実践して体得することの重要性を再認識しました。



＝京都市長への要望活動を実施しました＝

8月6日（金）、京都市長に対して要望活動を実施しました。

当日は、門川大作京都市長の代理として吉田良比呂副市長に対応していただき、松本理事長及び馬屋原副理事長から、センターへの補助金の確保、京都市からの更なる仕事の発注、事務局が使用している事務所の安定的な利用などについて要望を行いました。

吉田副市長からは、「京都市の財政状況は大変厳しい状況だが、高齢者の健康づくり、生きがいづくりにしっかりと取り組んでいかなければならない。シルバー人材センターへの仕事の発注について引き続き周知を図っており、高齢者の就業機会を創出できるよう努めていきたい。」旨のご発言をいただきました。



—新型コロナウイルス感染症への対応について（注意喚起）—

社会経済活動が以前より活発になり、第6波も懸念される中、昨年暮れから、3回目のワクチン接種も始まり、これから接種される方も多いと思われます。

会員の皆様におかれましては、日常生活において3密（密閉・密集・密接）の回避に注意しながらのマスクの着用、こまめな手洗いの徹底など、基本的な感染防止対策に引き続き努めていただき、健康にお過ごしいただきますようお願いいたします。

なお、会員の皆様ご自身の感染・濃厚接触が判明した場合には、発注者等への事後の対応が必要になるため、ただちに当センターにご連絡いただきますようお願いいたします。

人権の尊重について

これまで職場や地域など、社会の様々な場面で人権啓発の取組が行われてきましたが、残念なことに、今なお偏見や差別に基づく発言等がなされることも見受けられます。

また、昨今のコロナ禍では、人々の不安が広がる中、ネットやSNSなどで誹謗中傷が拡散されるなど人の尊厳が脅かされる事態になりました。

このような行為は他人の人格や尊厳を傷つけるものであり、決して許されるものではありません。会員の皆様におかれましても、こうしたことのないようお願いいたします。

緊急時の連絡先（携帯電話番号）について

事務局の業務時間外（夜間・休日）に、緊急の用件で連絡が必要になったときは、次の携帯電話に連絡してください。

	連絡先・携帯電話番号		連絡先・携帯電話番号
本 部	090-6676-6853	北 部 支 部	090-3978-6848
東 部 支 部	090-6678-5342	全支部共通	080-4014-8376

緊急の用件とは：

- ・就業中の大怪我、就業先と自宅との往復の途中での交通事故
- ・就業先に損害を与えたり、市民の方に怪我をさせた場合 などで急を要するとき

配分金の確定申告について

センターから受け取られた配分金等は、税法上は、雑所得として取り扱われ、次に該当するような場合は確定申告の必要がありますので、自主的に申告してください。

1. 配分金収入のみの会員

103万円を超える配分金収入がある場合

2. 配分金収入の他に年金収入がある会員

(年間配分金－配分金控除 55万円)＋(公的年金等－公的年金等控除)－基礎控除 48万円－その他所得控除〔扶養など〕＝課税対象所得額がある場合

確定申告についての詳細は、最寄りの税務署にお問い合わせください。

「配分金支払証明書」が必要な方はセンター事務局までご連絡ください。

なお、年間配分金収入が 55 万円以上の会員には、1 月下旬に事務局から郵送します。

迎
春

会員の皆様のご健康と
ご多幸をお祈り
申し上げます。

監事	監事	専務理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	副理事長	理事長
絹村	田中	松森	西垣	祖父江	小石	岩城	宇田	芳賀	田中	高橋	兒島	北川	梶川	岡田	上田	有馬
円雄	秀雄	敏郎	英子	文男	悦子	洋一	昭子	正昭	直均	樹	宏尚	博巳	祐成	清和	透	宏

編集後記

あけましておめでとうございます。

令和 3 年 10 月には、新型コロナウイルス感染防止対策の緊急事態宣言が解除になり、バスや観光地に旅行者が見受けられるようになり、イベントなども開催されようやく日常が戻りつつある中、新たな変異株の出現により第 6 波の発生が懸念されています。

コロナが収まり、経済が活性化し以前のような賑わいが戻り、困難な日々から一日も早く、当たり前の日常が戻ってほしいものです。

皆様には、今後も予防対策をしっかりととり、次の波が来ないように気を付けるとともに、楽しい日々を過ごされる事をお祈り申し上げます。

令和 4 年 1 月 1 日

発行

公益社団法人京都市シルバー人材センター

〒604-8437

京都市中京区西ノ京東中合町 2 番地

TEL: 821-2013 FAX: 821-2020